

課題番号：2026-4
研究課題名：サーファクタント蛋白 D キットナノピア SP-D の臨床的有用性の検討
試料・情報提供機関：NPO 法人つくば臨床検査教育・研究センター 提供責任者：滝野 寿
実施代表施設：積水メディカル株式会社 実施責任者：岩田 亮一
実施期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日
試料・情報管理責任者代表施設：つくば i-Laboratory LLP 試料・情報管理責任者代表者：内藤 麻美
対象となる試料・診療情報
「臨床検査の測定及び診断技術の向上プロジェクト 検体（診療上の採取血液等）の研究利用についての同意書」により同意の得られた試料提供者の試料・診療情報 ■ 血液試料 ■ 血清 （西暦 2023 年 5 月 1 日 ～ 2027 年 2 月 28 日までに検査のために採血した肺癌患者さんの試料） ■ 臨床情報（傷病 CD、既往歴 CD、投薬歴、その他（手術コード）、性別、年齢、検査結果）
研究の目的、意義
サーファクタント蛋白 D（SP-D）および KL-6 は、間質性肺疾患の診断補助に用いられる血液検査である。肺癌患者では、原疾患に加えて、既存の間質性肺疾患、放射線治療、抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などに関連した肺障害が臨床上問題となっている。肺癌診療において肺胞上皮障害や間質性変化を反映する血清マーカーの適切な評価は重要であるが、肺癌患者における SP-D と KL-6 の相関性や、それぞれの臨床的意義については明らかになっていない。 そこで本研究は、既存の肺癌患者残余血清を用いて SP-D を測定し、KL-6 との相関性を検討することで、肺癌患者における SP-D 測定の臨床的有用性および KL-6 との関係性を明らかにすることを目的とする。
実施方法
つくば臨床検査教育研究センターのバイオバンクでの血液検体（血清）を用い、つくば i-Laboratory LLP において、血液検査である SP-D を測定し、KL-6 との測定値の違いを比較する。
利用する者の範囲

つくば i-Laboratory LLP、積水メディカル株式会社
試料・情報の第三者への提供について
該当無し